

建築士事務所登録事項変更届

次のとおり登録事項の変更があったので建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）
第 23 条の 5 の規定により届け出ます。

令和 元 年 5 月 15 日 該当部分に○

登録番号 一級 二級 木造 愛媛県知事登録第 1234 号

登録年月日 平成・令和 30 年 12 月 4 日

建築士事務所の所在地 愛媛県松山市二番町 4 丁目 1 - 5

建築士事務所の名称 愛媛建築株式会社一級建築士事務所

建築士事務所の電話 089-945-5200

申請者住所 変更後の内容を記入
(法人事務所所在地) 愛媛県松山市二番町 4 丁目 1-5 押印不要

申請者名 愛媛建築株式会社
(法人名称及び氏名役名) 代表取締役 伊予 太郎

愛媛県指定事務所登録機関

一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会 様

変更のあった事項のみ記入

変更事項		従前の登録事項	変更後登録事項
建築士事務所	ふりがな 名称		
	所在地	〒 電話	〒 電話
開設者 (登録申請)	ふりがな 法人名称又は 個人氏名		
	法人事務所 所在地又は 個人住所	〒	〒
		<input type="checkbox"/> 申請者 <input type="checkbox"/> 申請者以外	<input type="checkbox"/> 申請者 <input type="checkbox"/> 申請者以外
		<input type="checkbox"/> 別添名簿参照	<input type="checkbox"/> 別添名簿参照
建築士	登録番号	級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造 第 号	<input type="checkbox"/> 一級
その他	所属建築士 氏名	伊予 太郎 (所属から外す) <input type="checkbox"/> 別添名簿参照	道後 泉 <input type="checkbox"/> 別添名簿参照
変更年月日		令和 2 年 2 月 7 日	

所属しなくなった人を記入【退職または所属から外すのみかが
わかるように】※複数人いる場合は別添名簿参照
としても可所属した人を記入※複数人いる場合は
別添名簿参照としても可

(注 1. 変更のあった事項のみ記入してください。

) 2. □のある欄は、該当する□に印を付けてください。

変更した日を記入

所 属 建 築 士 名 簿

[記入注意]

全ての所属建築士についてこの書類に記載しきれない場合は、備考の「有」の□の中にレを付けたうえで、この書類に記載しきれない部分を別紙に記入して添えてください。

(ふりがな) 氏 名	一級建築士 二級建築士 の別 木造建築士 (二級・木造建築士は登録を 受けた都道府県名を記入)	建築士免許の 登 録 番 号	建築士法第 22 条の 2 第 1 号から第 3 号に 定める講習修了年月日
えひめ はなこ 愛媛 華子	一級建築士	〇〇〇〇〇	H31.3.13
えひめ たろう 愛媛 太郎	一級建築士	〇〇〇〇〇	H31.4.3
しんぐう いっさ 新宮 一茶	一級建築士	〇〇〇〇〇	H31.3.13
どうご いずみ 道後 泉	二級建築士 (愛媛県)	〇〇〇〇〇	H30.12.13

当該事務所に所属し設計・工事監理等の業務に携わっている建築士を
すべて記載してください。(管理建築士も含む。)
一級建築士と構造一級・設備一級の資格をそれぞれ記載してくださ

(ふりがな) 氏 名	構造一級・設備一級 建築士である場合に あってはその旨	構造一級・設備一級 建築士証の交付番号	建築士法第 22 条の 2 第 4 号・第 5 号に 定める講習修了年月日
えひめ はなこ 愛媛 華子	構造一級建築士	〇〇〇〇〇	H31.3.13
しんぐう いっさ 新宮 一茶	設備一級建築士	〇〇〇〇〇	H30.11.13

有・無の□内に✓を入れてください。
またこの(第二面)にすべての建築士が記
載できない場合は 有の □内に✓を入れ、
この書類をコピーして使用してください。
この(第二面)で記載できる場合は無の
□内に✓を入れてください。

(備考)
別紙 有
無

一級建築士 3 名
二級建築士 1 名
木造建築士 名
構造設計一級建築士 1 名
設備設計一級建築士 1 名

